

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成28年1月1日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる

ban_4@ares.eonet.ne.jp

第33号

明けましておめでとうございます。ばんよしはるです。皆さんはどのように過ごされていますか。今、新年を迎え新たな気持ちで「瓦ばん33号」を書かせていただいております。

昨年12月議会の結果を報告します。

初めに斑鳩町社会福祉協議会の高齢者等外出支援事業についてご報告させていただきます。丘陵地の地区と町内の大型店舗などを結んで、火・金・日曜日に運行している「生き生き号」について、日曜日に乗車される人が少ないことから、平成28年4月1日から、日曜日の運行をやめる予定だと報告がありました。せっかく始まった事業なのですが、利用者が少なければ廃止することになりますので、必要な方は是非利用してください。

次に斑鳩町コミュニティバス再編の基本計画の報告があり、平成28年度中に実験運行が始まる予定で、現在のコミュニティバスの車両に加え、新たに1台購入し、2台で運行し、ルートは役場を起点として、主な公共施設、法隆寺駅、商業施設等を循環する計画です。それに伴うバス停位置は、現在のものは継続され、新規にイオンいかるが店、西里、龍田北、斑鳩文化財センター、法隆寺第3団地、目安に新設される予定です。

料金は1乗車100円となりますが、平成26年7月に行ったアンケート調査からこれからは受益者負担の考えでまちづくりをしなければという意見が多くあったことから検討されております。

次に、前回の「瓦ばん」でも報告させていただきました斑鳩町学習支援事業に関する条例を可決いたしました。来年度2学期から開始したいと教育委員会から説明があり、対象は町立学校に在籍する児童生徒で、小学校は4年生から6年生、中学校は1年生から3年生が対象となり、指導内容は小学校は国語・算数、中学校は数学・英語で、学習支援員は教員退職者、大学生、大学院生が学校の教室等を使い小学校は週2回中学校は週1回で事業の利用料は月1000円で一定の対象者には減免の規定があります。これらは各学校からの説明があります。

最後に、この9年弱の想いを少し書かせていただきます。

本当の勇氣とは、と思うことがたびたびあります。

言いにくいことでも、言うときは言わなければいけないときがあります。

しかし、躊躇することもあります。

そのとき、いつもご支援していただいている皆さんの顔を思い浮かべることにしています。

誠実さを忘れたくありません。

それこそが自分の原点です。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。